

部局名	安全環境部	所属名	環境保全課	所属長名	関 和則	電話	483-1151 内線3210
-----	-------	-----	-------	------	------	----	-----------------

## 1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	3677	事務事業名称	環境保全活動事業				短縮コード	経常	3677	臨時		
予算区分	会計	01	一般会計	款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	04	公害対策費
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等	環境基本法、環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律、八千代市環境基本条例、生物多様性基本法								
事業概要 (事務事業を開始したきっかけを含めて記入)												
<p>○ほたるの里づくり事業→平成5年の環境基本法の制定に伴い、自然環境の保全等広範囲な環境問題に取り組む諸施策が打ち出された。また、市民からも自然保護や自然とのふれあいに対するニーズが高まっていた。</p> <p>○こども環境教室事業→今日の環境問題を解決するためには、次世代を担う子供たちが早くから環境へ関心を持つことが肝要である。このような目的を果たすための有効な施策として、こども環境教室が事業化された。</p> <p>○環境学習の支援→市民・事業者からの講演依頼、地球的規模の環境問題の深刻化、環境問題への関心の高まり、「まちづくりふれあい講座」の開始、小中学校での「総合学習」における環境学習の実施。</p> <p>○谷津・里山保全事業→後期基本計画に位置づけられ開始。</p>												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱 (章)	03	安全・環境共生都市をめざして					
<p>○平成15年に「環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律」が制定され、地方公共団体も積極的に様々な施策を実施していかなければならない。ほたるの里事業、こども環境教室及び環境学習支援事業のいずれもこの法律の趣旨に沿うものあり、今後重要度は更に増すものと考えられる。</p> <p>○平成19年に国は、「第3次生物多様性国家戦略」を策定し、この中で里地里山・田園地域保全の重要性を述べている。今後一層、谷津里山保全のための取り組みを進めることが必要になると思われる。</p>					大項目 (節)	03	環境・衛生					
					中項目	01	環境との共生					
					小項目 (施策)	02	自然環境・生態系の保全					
						03	環境保全活動の支援					
					細項目	01	自然環境の保全と管理					
				02		環境学習の推進と人材育成						
実施計画の計画事業	3301	谷津・里山保全事業										
計画事業の位置付けの有無	<input type="checkbox"/>		計画事業期間	平成17年4月 ~ 平成21年3月			計画事業費	千円				

## 2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	1 八千代市ほたるの里づくり事業→市民 2 こども環境教室事業→小学校5・6年生 3 環境学習の支援→環境学習を希望する市民、事業者、学生、生徒、児童等						
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成19年度に実際に行ったこと: 1 ほたるの里の維持管理、整備、ナイトウォッチング、学習会、会報発行他 2 子ども環境教室、昆虫展、昆虫・植物学習会など環境学習の実施 3 環境学習の支援 4 谷津・里山保全事業 講演会、自然観察会、作品展の実施  ※平成20年度に計画していること: 1 ほたるの里の維持管理、整備、ナイトウォッチング、学習会、会報発行他 2 子ども環境教室、昆虫展、昆虫・植物学習会など環境学習の実施 3 環境学習の支援 4 谷津・里山保全事業 講演会、自然観察会、作品展、谷津・里山保全計画の策定						
意図 (何を狙っているのか)	1 八千代市ほたるの里づくり事業→ホテルの保全を通じ、自然保護意識の高揚と市民主体的活動を支援する。 2 こども環境教室事業→子供たちが自然とふれあう体験学習を行うことにより、環境問題を学び理解を深める。 3 環境学習の支援→市民・事業者等が環境問題に対する理解を深める。						
結果 (どんな結果に結びつけるのか)	入力対象外						
区分	指標	単位	18年度	19年度		20年度	
			実績	計画	実績	計画	
対象指標	指標1	市民	人	186,650	189,000	188,624	191,000
	指標2	市内小学5・6年生の児童数	人	3,577	3,710	3,683	3,725
	指標3	環境学習を希望する市民、事業者、生徒	人	337	800	157	500
活動指標	指標1	ほたるの里の活動回数	回	14	14	14	14
	指標2	参加者数	人	22	30	30	30
	指標3	各種講座開催回数	回	11	16	5	10
成果指標	指標1	ホテルメイトの人数	人	133	200	148	200
	指標2	こども環境教室への参加者数	人	22	30	30	30
	指標3	環境学習への参加人数	人	558	800	157	500
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード	3677	事務事業名称	環境保全活動事業		所属名	環境保全課	
	単位	18年度		19年度		20年度	
		実績		計画		実績	
事業費(A)	財源内訳	国	千円				
		県	千円				
		地方債	千円				
		一般財源	千円	1,377	2,141	1,993	4,741
	その他	千円					
主な事業費の内訳		ほたるの里づくり事業 630千円 ・夏休み親子環境教室 382千円		・ほたるの里づくり事業 733千円 ・子ども環境教室 403千円	・ほたるの里づくり事業 641千円 ・子ども環境教室 403千円	・ほたるの里づくり事業 704千円 ・子ども環境教室 403千円 ・谷津里山保全計画策定 3,150千円	
人件費(B)		千円	14,789.6	15,365	21,402.2	21,916.2	
トータルコスト(A)+(B)		千円	16,166.6	17,506	23,395.2	26,657.2	

### 3. 事務事業の評価(S E E)

評価類型	評価事項	評価区分	理由			
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 結び付いている	行政が積極的に環境保全活動に係る様々な施策を実施し、また、市民や団体による環境保全活動を支援している。			
		<input type="checkbox"/> 結び付くが見直しの余地がある				
		<input type="checkbox"/> 結びつきが弱い・ない				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	<input type="checkbox"/> 達成している	目的を達成するため、今後も継続して実施していく。				
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成していない					
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項					
③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	<input type="checkbox"/> 可能性はある	○ほたるの里づくり事業→当該事業は、ほたるの成育地であるとともに、ほたるの育成をとおして自然や動植物の保全の必要性等を学ぶ場でもある。市民・企業・行政による協働のもと進めており、民営化には馴染まない。 ○「環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律」が制定されたことにより、地方公共団体も各種の施策を実施することとなる。ほたるの里づくり事業、こども環境教室事業及び環境学習支援事業のいずれも、当該法律に基づく施策をして位置付けられることと考えられる。				
	<input checked="" type="checkbox"/> 可能性はない					
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項					
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のままでよい	こども環境教室事業は既に外部委託済みであり、ほたるの里づくり事業は市民・企業との協働により、管理・運営を行っている。谷津・里山保全事業については、土地所有者や市民団体と協働で事業を進めている。				
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある					
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項					
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	<input type="checkbox"/> 有効性向上の可能性はある	○ボランティア講師の参加により、一層環境学習を進めることができる。 ○ほたるの里づくり事業において、ホタルメイトへの参加を募り、市民との協働により管理・運営をする。 ○谷津・里山保全事業は、土地所有者、市民団体との協働で事業を進める。			
		<input type="checkbox"/> 効率性向上の可能性はある				
		<input checked="" type="checkbox"/> 両方可能性はある				
		<input type="checkbox"/> 可能性がない				
	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	<input type="checkbox"/> 民間委託等	○ボランティアで環境学習の講師を行う市民・団体を確保することにより、経費を上げずに環境学習を広めることができる。 ○ホタルメイトへの参加を募り、一層市民参加型の運営を進める。 ○谷津・里山の保全意識を高めることにより、市民・企業が里山保全に参加できる仕組みを作る。谷津・里山の現況調査などを実施し、保全のための地区を選定する。			
		<input type="checkbox"/> 臨時的任用職員等の活用				
		<input type="checkbox"/> IT化等業務プロセスの見直し				
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合・役割見直し	類似事務事業名称	1		実施主体(所管部署)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の方法		2		実施主体(所管部署)	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある	○環境学習におけるボランティア講師への負担が大きい。 ○谷津・里山の保全のためには、土地所有者の理解と協力と、市民・企業による保全活動へ参加が必要であり、仕組みを作るためには時間が必要である。また、谷津・里山の現況調査などの経費が必要となる。				
	<input type="checkbox"/> ない					

コード	3677	事務事業名称	環境保全活動事業			所属名	環境保全課																				
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		<input checked="" type="checkbox"/> 改革・改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他			谷津・里山を保全するため、平成20年度から3年間かけて、「谷津・里山保全計画」を策定する。その中で、市民ボランティアによる生物調査を行っていく。また、絶滅危惧種などの動植物を保護する取り組みをおこなう。																					
			<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続																								
⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経費</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>不変</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>不変</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>					経費			削減	不変	増加	成果	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	不変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	谷津・里山を保全するため、平成20年度から3年間かけて、「谷津・里山保全計画」を策定する。このため経費が増加する。	
		経費																									
		削減	不変	増加																							
成果	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																							
	不変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
<p>○ほたるの里づくり事業→市民の身近な自然環境に関する関心が高まっている反面、希少な動植物が盗まれてしまうこともある。自然を観察するうえでのルール啓発も必要である。八千代市でも第2、第3のほたるの里をつくって欲しいという要望がある。</p> <p>○こども環境教室事業→学校での学習とは違った体験ができたこと、参加者からは好評を得ている。</p> <p>○環境学習の支援→様々な市民団体、事業所、小中学校児童生徒、学校から、学習会への講師依頼や問い合わせがある。</p> <p>○谷津・里山保全事業→様々な市民団体や市議会から、保全の要望が出ている。</p>	

所属長コメント	<p>市内に残された貴重な自然環境を保全するとともに、身近な学校等公共施設でのビオトープで、より多くの市民が気軽に親しめる環境学習の場づくりを進める必要がある。</p> <p>今後の環境学習の推進に当たっては、環境活動に取り組むNPO、市民ボランティア講師の活用・支援がさらに必要と思われます。</p> <p>引き続き、ほたるの里づくり、谷津里山の保全活動を通じた生物多様性保全への理解を広げるため、当該事業を推進する必要がある。</p>	
評価調整委員会評価	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続	市民参加により事業を推進すべき。また経費の増加については十分検証すべき。